

人権の尊さを訴え

町内で人権擁護活動



ちらし配布の様子

週間を「人権週間」と定め、12月4日から12月10日までの期間中、全国各地でさまざまな人権擁護活動が行われました。

南部町でも・・・

南部町でも南部町役場法勝寺・天萬庁舎に懸垂幕を掲げPRすると共に、なんぶSANNチャンネル「人権の窓・愛」で中学生の人権作文の朗読を放映。

また、人権週間を前に12月3日に人権擁護委員（5名）が町内の事業所・企業・学校・施設などを訪問し、人権ポスターやちらしを配布したり、町内のスーパー前において、買い物に來られた方に人権啓発ちらしを渡すなど、人権尊重意識のより一層の普及高揚を図りました。

国際連合は世界人権宣言採択を記念して、採択日（昭和23年12月10日）の12月10日を毎年「人権デー」と定め、基本的人権および自由を尊重し確保するため、加盟国に対し人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。法務省と全国人権擁護委員連合会では、「人権デー」を最終日とする一

人権クイズに挑戦

問1

次のマークは次のうち、どのシンボルマークでしょうか？



- ① 人権擁護活動
- ② 世界人権宣言
- ③ 国際連合

問2

図はオレンジ色のリボンですが、何の運動（キャンペーン）のものでしょうか？



- ① 拉致被害全面解決
- ② エイズ撲滅
- ③ 子ども虐待防止

問3

次のキャラクターは南部町の人権キャラクターとして活躍しています。名前は次のうちどれでしょうか？



- ① ジンケロン
- ② ミカエル
- ③ マモル

■ 答え

問1 正解 (1)

国や地方公共団体、人権擁護委員やその他機関・団体が連携協力し人権擁護活動を実施しています。

問2 正解 (3)

オレンジリボン運動（キャンペーン）とは、「子ども虐待防止」の象徴として広める活動です。①の拉致問題はブルーリボン、②のエイズ撲滅はレッドリボンをシンボルに運動を行っています。

問3 正解 (2)

長年親しまれてきたカエルの人権キャラクターです。偏見や差別への間違った意識から「自分を変える」「見かたを変える」という思いが込められています。